

平成30年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社ユニバーサル園芸社
 コード番号 6061 URL <http://www.uni-green.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森坂 拓実

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼管理本部長

(氏名) 安部 豪

TEL 072-649-2266

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第2四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	3,549	6.3	348	27.7	370	3.4	260	1.4
29年6月期第2四半期	3,339	17.4	273	33.3	383	10.3	263	5.6

(注) 包括利益 30年6月期第2四半期 279百万円 (42.9%) 29年6月期第2四半期 195百万円 (26.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第2四半期	54.12	
29年6月期第2四半期	54.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第2四半期	7,550	6,333	83.9
29年6月期	7,428	6,150	82.8

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 6,333百万円 29年6月期 6,150百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		0.00		20.00	20.00
30年6月期		0.00			
30年6月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,607	6.9	911	9.8	965	3.7	525	15.9	109.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期2Q	5,025,000 株	29年6月期	5,025,000 株
期末自己株式数	30年6月期2Q	220,377 株	29年6月期	220,377 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期2Q	4,804,623 株	29年6月期2Q	4,804,692 株

平成29年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクの不安定要因により、実績の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ「(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、経済政策等の効果による企業収益や雇用環境の改善を背景に、消費の持ち直し等により景気は緩やかな回復基調が続いているものの、海外では今後の米国政策運営や金利及び為替相場の変動、北朝鮮の軍事行動を警戒したアジア諸国や米国の防衛活動が活発化するなど、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

このような環境のもと、当社グループは主力事業であるグリーン事業において、レンタルグリーンにおける新規顧客の獲得や販売促進のためのマーケティング活動に引き続き注力し、経費削減などの収益力強化に係る取組を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,549,066千円（前年同四半期比6.3%増）、営業利益は348,780千円（同27.7%増）、経常利益は370,988千円（同3.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は260,037千円（同1.4%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

〔グリーン事業〕

グリーン事業につきましては、引き続き景況感の緩やかな需要回復が進み、契約数の増加により増収となり、また経費削減に積極的に取り組んだ結果、増益となりました。海外エリアにつきましては、米国のローリング・グリーンズ・インク社での前期の事業譲受における一時的な取得関連費用が当期はなかったこと等により増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は2,635,504千円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益は332,939千円（同25.7%増）となりました。売上高営業利益率は、関東エリアは24.7%（前年同四半期25.0%）、関西エリアは23.6%（同21.9%）、海外エリアは△15.1%（同△23.6%）となりました。

〔卸売事業〕

卸売事業につきましては、販売先の拡大等の営業強化に引き続き取り組み、増収増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は431,958千円（前年同四半期比4.9%増）、営業利益は34,312千円（同46.7%増）となりました。

〔小売事業〕

小売事業につきましては、the Farm UNIVERSAL大阪にPET CAFEをオープンし、さらなる集客に努めましたが、天候不順により客足が伸びず、引き続き設備投資の償却負担等が回収出来なかったこと等によりセグメント損益は損失となっております。

以上の結果、当セグメントの売上高は520,772千円（前年同四半期比0.5%減）、営業損失は30,327千円（前年同四半期は27,793千円の営業損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（総資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は7,550,102千円となり、前連結会計年度末に比べて121,597千円の増加（1.6%増）となりました。

このうち流動資産は3,446,573千円となり、前連結会計年度末に比べて203,795千円の増加（6.3%増）となりました。これは主に受取手形及び売掛金が178,034千円増加したこと等によるものであります。また、固定資産は4,103,529千円となり、前連結会計年度末に比べて82,197千円の減少（2.0%減）となりました。これは主に投資有価証券が100,258千円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,216,471千円となり、前連結会計年度末に比べて61,736千円の減少（4.8%減）となりました。これは主に未払法人税等が51,382千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は6,333,631千円となり、前連結会計年度末に比べて183,334千円の増加（3.0%増）となりました。これは主に、利益剰余金が163,944千円増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想を精査した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、米国の税制改革法の成立に伴い米国子会社において、将来の税負担軽減を見込んで貸借対照表に計上していた繰延税金資産を取り崩すことによる税金費用の増加が見込まれることから、前回予想を下回る見込みとなります。そのため、平成29年8月14日に公表しました連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

親会社株主に帰属する当期純利益 前回発表予想 650百万円

今回修正予想 525百万円

詳細につきましては、本日（平成30年2月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,898,710	1,849,437
受取手形及び売掛金	692,069	870,104
有価証券	250,765	300,525
商品及び製品	309,335	327,537
原材料及び貯蔵品	777	734
その他	100,420	107,400
貸倒引当金	△9,300	△9,167
流動資産合計	3,242,777	3,446,573
固定資産		
有形固定資産		
土地	946,274	946,274
その他	1,959,258	2,098,161
減価償却累計額	△1,140,734	△1,229,651
その他（純額）	818,523	868,509
有形固定資産合計	1,764,798	1,814,784
無形固定資産		
のれん	635,097	602,527
その他	25,992	27,103
無形固定資産合計	661,089	629,630
投資その他の資産		
投資有価証券	264,790	164,532
繰延税金資産	580,066	587,629
投資不動産	506,735	506,735
減価償却累計額	△109,150	△112,798
投資不動産（純額）	397,584	393,936
その他	522,115	517,734
貸倒引当金	△4,717	△4,717
投資その他の資産合計	1,759,839	1,659,114
固定資産合計	4,185,727	4,103,529
資産合計	7,428,505	7,550,102

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	216,434	239,444
1年内返済予定の長期借入金	99,996	99,996
未払法人税等	169,148	117,766
賞与引当金	—	5,686
その他	296,300	309,088
流動負債合計	781,879	771,982
固定負債		
長期借入金	66,676	16,678
退職給付に係る負債	172,071	167,217
長期未払金	206,754	206,754
その他	50,827	53,839
固定負債合計	496,328	444,489
負債合計	1,278,208	1,216,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	172,770	172,770
資本剰余金	122,488	122,488
利益剰余金	6,082,410	6,246,355
自己株式	△153,840	△153,840
株主資本合計	6,223,828	6,387,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△308	△8
為替換算調整勘定	△73,223	△54,134
その他の包括利益累計額合計	△73,531	△54,142
純資産合計	6,150,296	6,333,631
負債純資産合計	7,428,505	7,550,102

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
売上高	3,339,093	3,549,066
売上原価	1,323,386	1,329,575
売上総利益	2,015,707	2,219,491
販売費及び一般管理費	1,742,496	1,870,710
営業利益	273,210	348,780
営業外収益		
受取利息	4,075	2,341
受取配当金	226	238
投資不動産賃貸料	17,165	19,530
為替差益	95,144	3,064
その他	3,865	8,103
営業外収益合計	120,478	33,277
営業外費用		
支払利息	238	55
不動産賃貸原価	7,721	9,919
その他	1,852	1,095
営業外費用合計	9,813	11,069
経常利益	383,875	370,988
税金等調整前四半期純利益	383,875	370,988
法人税等	120,015	110,951
四半期純利益	263,860	260,037
親会社株主に帰属する四半期純利益	263,860	260,037

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日）
四半期純利益	263,860	260,037
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	300
為替換算調整勘定	△68,322	19,089
その他の包括利益合計	△68,339	19,389
四半期包括利益	195,520	279,426
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	195,520	279,426
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成28年7月1日 至平成28年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成29年7月1日 至平成29年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	383,875	370,988
減価償却費	82,358	95,759
のれん償却額	40,342	42,580
貸倒引当金の増減額（△は減少）	14,059	△275
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	7,790	△4,853
受取利息及び受取配当金	△4,302	△2,580
支払利息	238	55
為替差損益（△は益）	△96,323	△3,643
売上債権の増減額（△は増加）	△225,487	△165,240
たな卸資産の増減額（△は増加）	△4,145	△17,977
仕入債務の増減額（△は減少）	73,238	11,335
未払消費税等の増減額（△は減少）	△17,990	△3,547
その他	11,473	6,690
小計	265,128	329,292
利息及び配当金の受取額	8,306	4,082
利息の支払額	△238	△55
法人税等の支払額	△119,371	△156,267
営業活動によるキャッシュ・フロー	153,824	177,051
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	300,000	50,000
投資有価証券の取得による支出	△60,799	△68
有形固定資産の取得による支出	△187,576	△134,221
無形固定資産の取得による支出	△5,786	△4,592
投資不動産の賃貸に係る支出	△4,900	△7,168
投資不動産の賃貸による収入	17,349	19,331
定期預金の預入による支出	△100,002	△100,000
定期預金の払戻による収入	150,000	100,000
保険積立金の積立による支出	△3,866	△2,519
事業譲受による支出	△568,036	—
その他	949	△1,373
投資活動によるキャッシュ・フロー	△462,669	△80,611
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△99,996	△49,998
リース債務の返済による支出	△373	△463
自己株式の取得による支出	△81	—
配当金の支払額	△84,082	△95,923
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184,533	△146,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	45,791	670
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△447,587	△49,273
現金及び現金同等物の期首残高	1,872,006	1,687,791
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,424,418	1,638,518

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年7月1日至平成28年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
外部顧客への売上高	977,052	806,138	658,322	2,441,513	374,541	523,039	3,339,093	-	3,339,093
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	204	-	204	37,375	258	37,838	△37,838	-
計	977,052	806,342	658,322	2,441,717	411,916	523,297	3,376,931	△37,838	3,339,093
セグメント利益 (△は損失)	243,811	176,629	△155,568	264,871	23,385	△27,793	260,463	12,747	273,210

(注) 1 セグメント利益の調整額12,747千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、当社連結子会社であるローリング・グリーンズ・インクが、プレミア・プラントスケープス・エルエルシーから全事業を譲り受けております。

その結果、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「グリーン事業（海外エリア）」セグメントにおいて、571,902千円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「グリーン事業（海外エリア）」セグメントにおいて、プレミア・プラントスケープス・エルエルシーからの事業譲受により、のれんが262,287千円増加しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年7月1日至平成29年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
外部顧客への売上高	1,067,755	789,216	777,644	2,634,616	394,049	520,401	3,549,066	-	3,549,066
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	887	-	887	37,909	370	39,168	△39,168	-
計	1,067,755	790,104	777,644	2,635,504	431,958	520,772	3,588,235	△39,168	3,549,066
セグメント利益 (△は損失)	263,967	186,108	△117,136	332,939	34,312	△30,327	336,923	11,857	348,780

(注) 1 セグメント利益の調整額11,857千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

（法人税率の変更等による影響）

平成29年12月22日付で、米国において税制改革法が成立したことに伴い、平成30年より連邦法人税率の引下げ等が行われることになりました。

この変更を当第2四半期連結会計期間末に適用した場合、法人税等が133,173千円増加することになります。